2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	作業療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	福祉住環境論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(2)　時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	後期　木1	教室名	403号室
担当教員	前島 龍仁	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

国際生活機能分類(ICF)の環境因子に当たる物的環境には、住環境や福祉用具などがあり、その適切な調整は対象者の生活の自立や自律を支援する資源となる。そのことから生活環境の整備・調整において、作業療法士は大きな社会的役割をもつことは言うまでもない。本科目では、環境の視点から対象者を支援する専門家である福祉住環境コーディネーター2級認定資格の取得を目指す。

《成績評価の方法と基準》

福祉住環境コーディネーター2級の成績45%、小テスト・レポート50%、平常点(態度・準備)5%で評定する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

■テキスト: 福祉住環境コーディネーター検定試験2級公式テキスト[改訂7版](東京商工会議所)、15レクチャーシリーズ　理学療法・作業療法テキストADL・実習(中山書店)　■その他: 参考資料を随時配布します。■参考書: 福祉住環境コーディネーター検定試験　2級　一問一答&ポイントチェック2027年版 (ハウジングエージェンシー)

《授業外における学習方法》

資格取得に向けて過去問を解いて理解していない部分を減らしていくことが必要。他の授業との関連を含め知識を広げていく

《履修に当たっての留意点》

・公式テキストの内容確認を計画的に行うため、毎回指定する範囲を課題として予習しておくこと。
・本科目成績の合格レベルが、実際の認定資格試験の合格を保証するものではない。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	福祉住環境コーディネーター2級認定試験の合格。	教科書、配布資料	事前学習 シラバスを読んでおく。(20分) 事後学習 配布資料の整理と復習、課題の演習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 福祉住環境コーディネーター2級検定試験の過去問題の演習と公式テキスト内容の学習ポイントを学ぶ(1章)。		
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	福祉住環境コーディネーター2級認定試験の合格。	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストの一読。(20分) 事後学習 配布資料の整理と復習、課題の演習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	高齢者・障害者を取り巻く社会状況と住環境と福祉住環境コーディネーターの役割と機能の理解が行える(1章)		
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	福祉住環境コーディネーター2級認定試験の合格。	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストの一読。(20分) 事後学習 配布資料の整理と復習、課題の演習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	福祉住環境コーディネーター2級検定試験の過去問題の演習を行い、対応する公式テキストの内容を押さえていく(2章)。		
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	福祉住環境コーディネーター2級認定試験の合格。	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストの一読。(20分) 事後学習 配布資料の整理と復習、課題の演習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	障害のとらえ方やリハビリテーションと自立支援の方法等が高齢者・障害者の特性を抑えた上で理解できる(2章)		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	福祉住環境コーディネーター2級認定試験の合格。	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストの一読。(20分) 事後学習 配布資料の整理と復習、課題の演習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	福祉住環境コーディネーター2級検定試験の過去問題の演習を行い、対応する公式テキストの内容を押さえていく(3章)。		

授業の方法		内　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	福祉住環境コーディネーター2級認定試験の合格。	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストの一読。(20分) 事後学習 配布資料の整理と復習、課題の演習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	高齢者に多い疾患や障害にあわせた住環境整備の理解が行える(3章)		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	福祉住環境コーディネーター2級認定試験の合格。	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストの一読。(20分) 事後学習 配布資料の整理と復習、課題の演習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	福祉住環境コーディネーター2級検定試験の過去問題、練習問題の演習を行い、対応する公式テキストの内容を押さえていく(4章)		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	福祉住環境コーディネーター2級認定試験の合格。	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストの一読。(20分) 事後学習 配布資料の整理と復習、課題の演習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	福祉住環境整備に関わるケアマネジメントや相談援助、連携の取り方、進め方の理解が行える(4章)		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	福祉住環境コーディネーター2級認定試験の合格。	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストの一読。(20分) 事後学習 配布資料の整理と復習、課題の演習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	福祉住環境コーディネーター2級検定試験の過去問題、練習問題の演習を行い、対応する公式テキストの内容を押さえていく(5章)		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	福祉住環境コーディネーター2級認定試験の合格。	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストの一読。(20分) 事後学習 配布資料の整理と復習、課題の演習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	福祉住環境整備を行う上での基本的技術や手法、知識の理解が行えるく(5章)		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	福祉住環境コーディネーター2級認定試験の合格。	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストの一読。(20分) 事後学習 配布資料の整理と復習、課題の演習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	福祉住環境コーディネーター2級検定試験の過去問題の演習を行い、対応する公式テキストの内容を押さえていく(6章)		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	福祉住環境コーディネーター2級認定試験の合格。	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストの一読。(20分) 事後学習 配布資料の整理と復習、課題の演習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	福祉用具の意味や適用、活用方法の理解が行える(6章)		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	福祉住環境コーディネーター2級認定試験の合格。	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストの一読。(20分) 事後学習 配布資料の整理と復習、課題の演習、模擬試験に向けた復習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	1章～6章のまとめ要点テスト、回答、解説		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	福祉住環境コーディネーター2級認定試験の合格。	教科書、配布資料	事前学習 模擬試験に向けた復習。(20分) 事後学習 これまでの学習内容の再整理。(40分)
		各コマにおける授業予定	要点振り返り(1～6章)		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	福祉住環境に関わる知識の習熟が行え、実例に合わせた提案が行える	教科書、配布資料	事前学習 模擬試験に向けた復習。(20分) 事後学習 これまでの学習内容の再整理。(40分)
		各コマにおける授業予定	福祉住環境コーディネーター2級認定試験の振り返り、要点テスト		